

京都の夏 2015 祇園祭 後祭 宵山&山鉾巡行 7.23.夕&7.24.

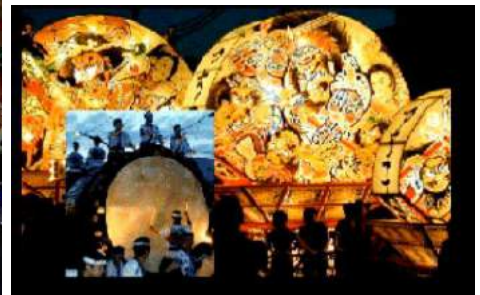


祇園祭のお囃子に 日本人の心の故郷「優しき縄文」が今も生きている
「コンコンチキチン コンチキチン」

静まり返った京都の町並にかすかに流れてくる祇園囃子の心地よさ。

私は「心優しき日本人の故郷 縄文」とよく言うのですが、

ふと 祇園町・祇園囃子は縄文の響き・リズム 日本人の故郷ではないか・・・と



祇園祭 大船鉾巡行

三内丸山 縄文のお月見 と弘前ねぶた

「コンコンチキチン コンチキチン」 祇園囃子の音が静まり返った京都の家並にかすかに流れてくる。

雑踏の中にいるのに、何とはなしに心地よい響き。 こんな感覚 どこかで聞いたことがあると。

記憶をたどると青森三内丸山遺跡のお月見で聞いた縄文の祭のリズム・響き

真っ暗な中 岩木川沿いを郷に帰る弘前ねぶたの笛の音

そして 小牧野や大湯など東北のストーンサークルの静寂の森で聞く無音の響きなどに行きついた。

「心優しき日本人の故郷 縄文」と私はよく言うのですが、縄文の心地よい音の響きを思い出していました。「これだ」と。
そんな昔からの心地よいリズム・響きが祇園囃子にもあると気が付いた。

また、意識はしていませんでしたが、 京都にはそんな心地良いゆったりとした響き・リズムを感じることもあり、
つつ、ふらりと計画もなく京都の街歩きを楽しむ。 そんな京の街歩き いつ行っても 新鮮な発見に出会います。
楽しい京都の街歩き 私の街歩きの原点かもしれないと・・・

暗闇の中に燃え上がる大文字の無音の炎

街中に点在する神社仏閣の神域空間の音

古い家並の街で 下駄の音が街に響く寒い朝

街のざわめきの中で聞く賀茂川の流れ

等々 考えてみると心地よい感覚が次々と・・・

京の田舎・巨木芦生台杉の生命力を育んだ北山杉の森

京の祭に 夕の雑踏が去った夜の祇園町

京都の街中の路地歩きのざわめきの中にも

京を取り巻く丘の上から街を見下ろして聞くざわめき

祇園祭の街角に立って 近づいてくる祇園囃子に耳を澄ます。

なんともいえぬ心地良さが身に染みわたる。

この心地よさはなになのか？

ふと頭に浮かぶ「祇園囃子は縄文の響き・リズム 日本人の故郷の心地よさがある」と祇園祭の京の街を思い浮かべるにつれ、だんだんとそれが確信の思いになって 頭一杯に広がってゆく。

「京都に多くの人が惹かれるのも この日本人の奥底にある響き・リズムが 京都には今も随所に残っているからか」と。

「今年の祇園祭では 是非 この感覚を確かめたい」と。

豪雨そして台風と悪天候にたたられた今年の祇園祭前祭でしたが、後祭の宵山 7月23日は奇跡的な雨上がり。

7月23日夕と翌24日 祇園祭 後祭の宵山と山鉾巡行の京の街歩きを楽しみました。



「日本人の心の故郷 心優しき縄文 かつて約1万年を越える長きにわたって続いた平和な暮らしの時代があった」
その根底に流れる心地よいリズム・響きが私たちの中に 今も脈々と受け継がれている。



岩手 御所野縄文集落遺跡の土屋根



三内丸山縄文遺跡 縄文のお月見



縄文縄文の響き・リズムを思い浮かばせてくれる東北の弘前ねぶたと青森ねぶた

- 参考 三内丸山遺跡「縄文のお月見」のお月見で聞いた 縄文の響きをいつも起想させてくれる 山上進さんの横笛演奏(「津軽の響き」より 岩木山 岩木山 お山参り)がバックに入った 三内丸山遺跡の動画が下記ホームページにあります

<http://www.infokkna.com/ironroad/2009htm/iron5/0910aom00.htm>

そのリズムと響きが祇園囃子や京都の街角に間違いなく受け継がれていると感じる祇園祭 後祭の街歩きの心地よさ。

スピードを求め、即物的な現代社会の中で、心の奥底にしまい込まれて、ついつい見失いがちな「真実・本物」の感覚。

本人だけにしかわからぬ感覚かもしれませんが、最近よく言われるスローライフの感覚もこれかと…。無意識の心地よさを呼び起こしてくれ て、心身リフレッシュのうれしい街歩き。

いつも新しい発見がある 京の街歩き ぶらっと出かけられる気楽さもあって、当分はやめられそうにない。

頭を空っぽにして ぶらっと京都の街歩きにでかけられては・・・と。

2015 京都祇園祭 後祭の京都街歩き

1. 後祭 宵山の夕 山鉾の提灯に灯が入った鉾町 2015.7.23.夕



宵山の夕 山鉾の提灯に灯がはいり、祇園囃子が流れる鉾町 宵山を楽しむ人で一杯に 2015.7.23.夕



古い町家が建ち並ぶ鉾町では表の格子を開け、家自慢の屏風祭で人を招き入れてくれる

2. 後祭 宵山 夕の喧騒がなかったかのような夜 静まり返った祇園 2015.7.23.夜



祇園囃子の余韻が無音の街歩きを一層心地良くしてくれる

3. 後祭 山鉾巡行 2015.7.24.



素晴らしい美術品を飾りつけ山鉾の巡行がすぐ前を行く 祇園囃子に 音頭取りの声 車輪のざしむ音もすぐ前に



戦勝凱旋の姿をあらわすという巨大な大船鉾の巡行は堂々として 最後を飾るにふさわしい
祇園祭 後祭 2015 山鉾巡行 御池通で 2015.7.24.

2015 祇園祭 後祭 山鉾巡行の辻まわしは、昨年じっくりと見たので本年はパスしましたが、雑踏の中で押され眺める前祭とは違って、本当にまじかで山鉾そして巡行を見られました。 また、鉾町の街歩きも本当にゆったりと宵山の雰囲気を楽しむことができました。 あの人びとがびっしり詰まった前祭もそれはそれでお祭りの雰囲気ですが、後祭がおすすめ。

昨年もそうでしたが、提灯飾りに灯が入った山鉾 祇園囃子を聞きながら、商家の座敷に飾られた自慢の屏風の見て歩き。

昔の形での宵山の鉾町歩きが楽しめましたことの余裕。 街角でふと立ち止まって 流れてくる祇園ばやしを聞く余裕も。

また、翌日の山鉾巡行も、人垣に邪魔されずに本当にまじかで見る後祭

ふっと感じる心地よい空間「祇園祭の音と響きが日本人の奥底にある心地よい縄文の記憶を受け継いでいる」と思い浮かべてくれる心地よさは今回の街歩きの随所でも……。

私だけでなく、多くの人達が祇園祭そして京都に惹かれるのもそれだと思っています。

今年は新しい発見のあった祇園祭でした

2015. 7. 24. 帰りの阪急電車でゆられながら・・・

Mutsu Nakanishi



【 参考 和鉄の道 Iron Road 】

1.【縄文】 和鉄の道 Iron Road 製鉄関連遺跡探訪リスト

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/ironjyomon.htm>

2.祇園祭 後祭

1. 2014 年祇園祭 後祭 山鉾巡行? 150 年振りに「大船鉾」が都大路をゆく 2014.7.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014walk/14walk13.pdf>

3. 心優しき縄文

1. 【鉄の雑記帳】日本人の心のふるさと「心優しき縄文人」の知恵 2014.6.1.

「利他的精神」について 朝日新聞天声人語にこんな記事が...

<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014iron/14iron05.pdf>

2. 【2014 年 4 月 From Kobe】日本は今 心のない時代に 今警鐘をならさねば... 2014.4.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1404.pdf>

3. 【2010 年 11 月 From Kobe】縄文がえりの勧め 心優しき縄文の村 2010.11.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/fkobe1011.pdf>

4. 縄文の心を映すストーンサークル 2011.11月 2011.11.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/7iron13.pdf>

4.縄文のリズム・響き 東北の祭

1. 2002 夏 「ねぶた」と「ねぶた」 青森 Walk 2002.8.3.-5.

<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/walk/kaze16.pdf>

2. 三内丸山縄文遺跡「縄文のお月見」 2009.9.5.

初秋の青森・秋田風来坊【1】岩木高原「獄キミ」Walk と三内丸山遺跡「縄文のお月見」より

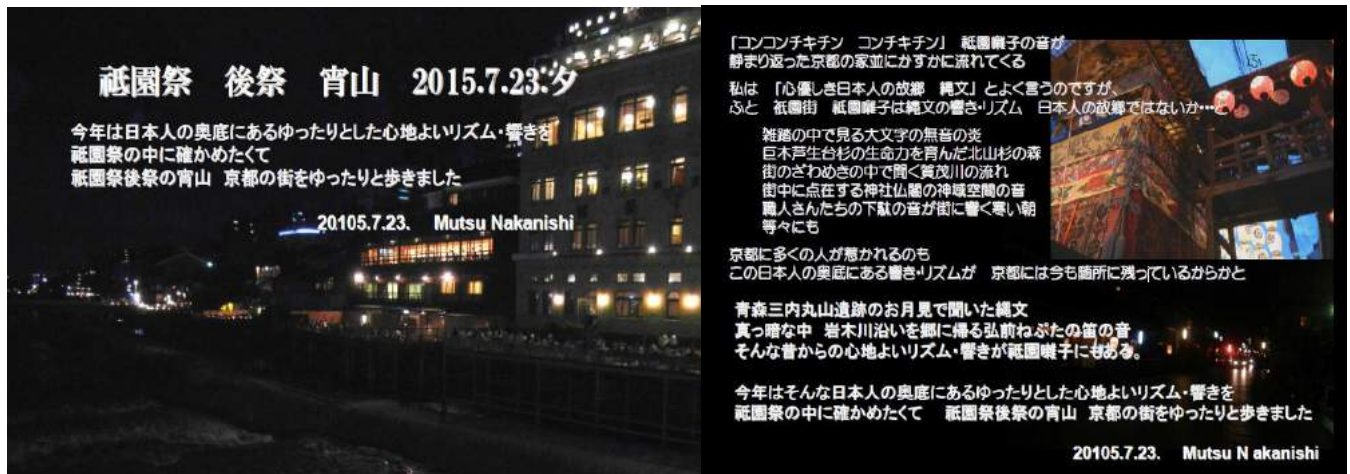
● <http://www.infokkna.com/ironroad/2009htm/iron5/0910aom00.htm>

動画のバックに 「津軽の響き」より 山上進さんの横笛などが入っています

● <http://www.infokkna.com/ironroad/dock/walk/9walk13.pdf>



1. 後祭 宵山の夕 山鉾の提灯に灯が入った鉾町 2015.7.23.夕







祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.



祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.



祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.

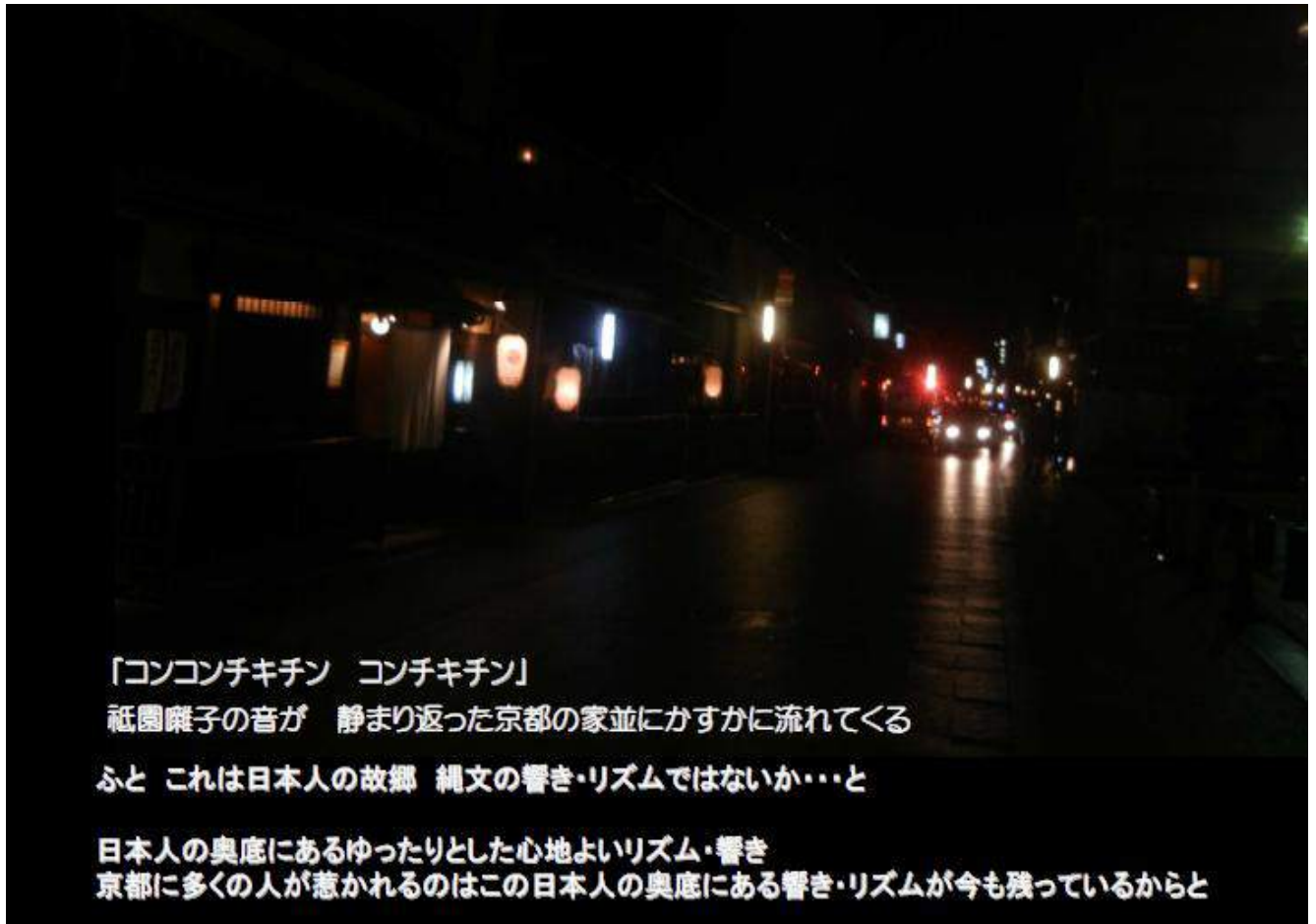


賀茂川 四条大橋で 祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.



四条通 四条大橋 祇園祭 後祭宵山 2015.7.23.

2. 後祭 宵山 夕の喧騒がなかったかのような夜 静まり返った祇園 2015.7.23.夜



「コンコンチキチン コンチキチン」 祇園囃子の音が
 静まり返った京都の家並にかすかに流れてくる

私は「心優しい日本人の故郷 縄文」とよく言うのですが、
 ふと 祇園街 祇園囃子は縄文の響き・リズム 日本人の故郷ではないか・・・と

雑踏の中で見る大文字の無音の炎
 巨木芦生台杉の生命力を育んだ北山杉の森
 街のざわめきの中で聞く賀茂川の流れ
 街中に点在する神社仏閣の神域空間の音
 職人さんたちの下駄の音が街に響く寒い朝
 等々にも

京都に多くの人が惹かれるのも
 この日本人の奥底にある響き・リズムが 京都には今も随所に残っているからかと

青森三内丸山遺跡のお月見で聞いた縄文
 真っ暗な中 岩木川沿いを郷に帰る弘前ねぶたの笛の音
 そんな昔からの心地よいリズム・響きが祇園囃子にもある。

今年はそんな日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム・響きを
 祇園祭の中に確かめたくて 祇園祭後祭の宵山 京都の街をゆったりと歩きました

20105.7.23. Mutsu N akanishi



3. 後祭 山鉾巡行 2015.7.24.



素晴らしい美術品を飾りつた山鉾の巡行がすぐ前を行く 祇園囃子に 音頭取りの声 車輪のぎむ音もすぐ前に



戦勝凱旋の姿をあらわすという巨大な大船鉾の巡行は堂々として 最後を飾るにふさわしい
祇園祭 後祭 2015 山鉾巡行 御池通で 2015.7.24.

1番: 橋弁慶山 【心身強健】

五条大橋で牛若丸と弁慶が刀を交える
有名なシーン

2番: 北観音山 【疫病除け】

天水引は雲龍図と金地唐草を使用
百子図綴錦は優品

3番: 役行者山 【疫病除け】

左右のご神体の背後にある二本の
朱傘が特徴的

4番: 八幡山 【夜泣き封じ】

木彫りの鳩が鳥居の上で向かい合う
夫婦円満のしるし

5番: 鈴鹿山【盗難除け/安産】

ご神体は山鉾随一の美女と誉れ高い
鈴鹿権現

6番: 南観音山 【疫病除け】

山後部から垂れ下がる柳の枝は
疫病除け、龍の目は宝石

7番: 鯉山 【立身出世】

龍門の滝を昇りきった鯉は龍になるという
中国の伝説に取材

8番: 黒主山 【盗難除け/泥棒除け】

大判黒主が大きく反って滋賀の山桜を
仰ぐ姿を表現

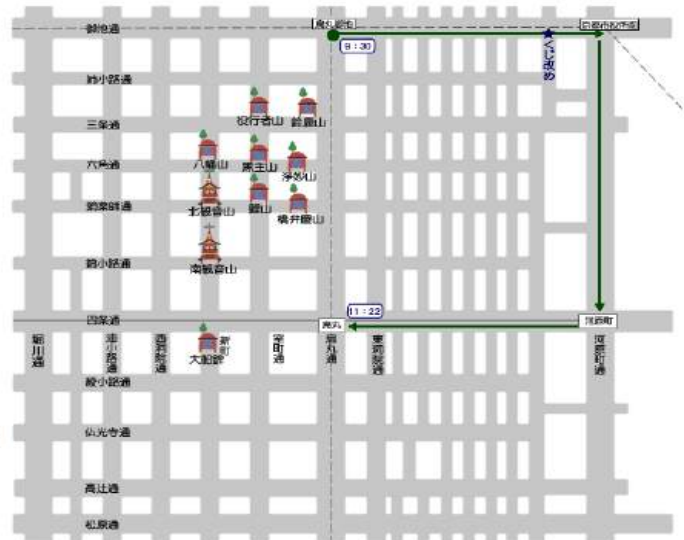
9番: 浄妙山【勝負運】

一來法師が筒井浄妙に先んじようとする
一瞬を人形組みで表現

10番: 大船鉾 【安産/勝負運】

船鉾は神功皇后の出陣を表し、大船鉾は戦勝凱旋の船を

祇園祭 後祭 山鉾巡行順番 2015.7.24.



巡行の出発点 御池通に出るともう巡行が始まっていました
昨年もそうでしたが、前祭に比べると人波ははるかに少なく、本当に真ん前で
素晴らしい装飾品で飾られた山鉾の巡行する姿を見られるのがいい。
前祭の提灯籠（くじとらす）が先の方にいる市役所前の方へ……







7番：鯉山「立身出世」中国故事登竜門の鯉がご神体 飾り付けは重文のタペストリー



いよいよ最後 10番 戦勝凱旋の姿を描く大船鉾がやってきた



10番 戦勝凱旋の姿を描く大船鉾







祇園祭 後祭 山鉾巡行 2015.7.24.

本年は生まれしをパスしましたが、じっくり楽しみたいのには 後祭がおすすめ
 昨年もそうでしたが、人垣に邪魔されずに本当にまじかで 山鉾巡行が見れる後祭
 山鉾の数は少し少ないですが、程よい長さ

ふっと感じた日本人の奥底にある記憶を思い起こさせる祇園祭の音と響き
 やっぱり祇園祭もそれを思い起こさせてくれる
 多くの人達が祇園祭そして京都に惹かれるのもそれだと

今年は新しい発見のあつた祇園祭でした

2015.7.24、帰りの阪急電車でゆられながら...

10番 戦勝凱旋の姿を描く大船鉾

「コンコンチキチン コンチキチン」 祇園祭の音が
 静まり返った京都の空に流れてくる

私は「心優しき日本人の故郷 縄文」とよく言うのですが、
 心と 祇園街 祇園祭は縄文の響き・リズム 日本人の故郷ではないか...

雑踏の中に見る大文字の無音の炎
 巨木戸生台杉の生命力を育んだ北山杉の森
 街のざわめきの中で聞く賀茂川の流れ
 街中に点在する神社仏閣の神域空間の音
 農人さんたちの下駄の音が街に響く寒い朝
 等々にも

京都に多くの人が惹かれるのも

この日本人の奥底にある響き・リズムが 京都にはうも随所に残っているからかと

青森三内丸山遺跡のお月見で聞いた縄文

真暗な中 岩木川沿いを鑑に帰る弘前ねぶたの音の音
 そんな昔からの心地よいリズム・響きが祇園祭にもある。

今年はそんな日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム・響きを
 祇園祭の中に確かめたくて 祇園祭後祭の宵山 京都の街をゆったりと歩きました

日本人の心の故郷 心優しき縄文

日本には かつて 約1万年を超える長きにわたって続いた 平和な暮らしの時代があった
 その根底に流れる心地よいリズム・響きが私たちの中にも受け継がれている

今年は日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム・響きを
 祇園祭の中に確かめたくて
 祇園祭後祭の宵山 京都の街をゆったりと歩きました

祇園祭 後祭 2015.

【参考 心優しき縄文】

1. 【鉄の雑誌】日本人の心のふるさと「心優しき縄文人」の知恵
 「利他的精神」について 朝日新聞天声人語にこんな記事が..... 2014.6.1.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014iron/14iron05.pdf>
2. 【2014年4月 From Kobe】日本は今 心のない時代に 今響鐘をならさねば... 2014.4.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/kobe1404.pdf>
3. 【2010年11月 From Kobe】縄文がえりの勧め 心優しき縄文の村 2010.11.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/kobe1011.pdf> 2011.11.
4. 縄文の心を映すストーンサークル 2011.11月
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/7iron13.pdf>

【参考 祇園祭 後祭】

1. 2014年祇園祭 後祭 山鉾巡行 150年振りに「大船鉾」が都大路をゆく 2014.7.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014walk/14walk13.pdf>